

八幡平をもっと楽しむためのフリーマガジン

2014. vol. **3**  
*Take Free*

# ハチクラ

ステキな八幡平の情報発信をする倶楽部

## Obuke 大更へ 花輪線に乗って



08 食材を求めて産直へ。今日のひと皿  
10 八幡平に生きる人 12 自然王国へようこそ  
15 ディープスポットを訪ねる 16 ビッキーと行く八幡平



## 山の男を癒した酒

ローカル線の旅は、多くの出会いをくれる。わずかな乗車時間の中に風景や人情、暮らしなど、さまざまなものが詰め込まれている。それは、好摩駅から大館駅をつなぐ花輪線にもある。そして、駅一つひとつにも。

大更駅は、昔、花輪線と松尾鉾山をつなぐ松尾鉾山鉄道の発着駅だった。鉾山の輸送基地となったことで大更のまちは栄え、いまでも当時の面影がある。その一つが「わしの尾」だ。わしの尾は、文政12年（1829）創業の酒蔵。ここには、普通酒だが、晩酌や宴会の定番として多くのファンを惹きつけている「金印」という酒がある。松尾鉾山で働く男たちはこの酒を愛した。濃醇甘口な酒は、疲れを癒し、明日への鋭気を与えたのだらう。

酒造りの季節となった。わしの尾の常居に蒸し米の匂いが漂い始める。酒造りで大切なのは水、米、人。そして、酒を愛好する地域の人々。かつて鉾山の男たちを癒した酒は、いまも変わらずあり続けている。



わしの尾

八幡平市大更22-158  
TEL 0195-76-3211  
<http://www.washinoo.co.jp>







## 樋口せんべい店



昭和35年(1960)の創業当時は手焼きでつくっていたが、昭和50年代に機械化。しかし、焼き型は当時のままだ。南部煎餅、かりんとうと昔ながらの菓子のほか、いまは「岩手さんのミニ」など新しい和菓子も開発・販売している。

八幡平市大更25-65-1  
TEL 0195-76-2818  
営業時間 / 8:30 ~ 18:00  
定休日 / 不定休



## 丸初

先代までは料亭も経営していたという「丸初」。日々の宴会のほか、結婚披露宴や法事にも使われていたという。今は三代目が初代からの味を守っている。近所の「樋口せんべい店」のご主人曰く「なんでもおいしい」。

八幡平市大更25-66-6  
TEL 0195-76-4658  
営業時間 / 12:00 ~ 14:00、  
18:00 ~ 22:30 (スープがなくなりしだい終了)  
定休日 / 不定休



## 鉱山がまちをつくる

松尾鉱山の発見は明治初期までさかのぼる。本格的に稼働したのは、大正3年(1914)の松尾鉱業設立による。一時は国内の硫黄生産高の約3割を占め、「東洋一の硫黄鉱山」と呼ばれるまでに成長。従業員と家族1万5000人余りが暮らし、学校や病院、映画館などが建てられ、「雲上の楽園」といわれるほどのまちを形成した。

松尾鉱山の恩恵は、鉱山と松尾鉱山鉄道とつながる大更駅にも及んだ。食料品店や雑貨店、飲食店が立ち並び、休日になると、鉱山の人々にぎわったという。



花輪線がいまも非電化のなか、松尾鉱山鉄道は電化され、観光客の足にもなっていた。



## 自然を守り、まちをつくる

八幡平アスピーテラインからコンクリートの建物が見える。大自然の中にある人工物は、不思議な感動を覚える。ここが松尾鉾山のアパート群跡地だ。東洋最大の硫黄鉾山を誇った松尾鉾山は、昭和49年（1974）に閉山。鉾山から流出する強酸性水は赤川へ流れ、閉山後も社会問題となっていた。その対策として、建てられたのが中和処理施設だ。以来、24時間態勢で中和処理を行っている。さらに、鉾山跡地の森林再生活動にも取り組んでいる。

八幡平市田頭の「館山公園」は、かつて田頭城があった丘陵である。そこに登ると、雄大な岩手山と八幡平市内を眺められる。秋には稲穂が黄金に輝き、夏には田圃の緑が美しい。この風景を守り、八幡平市の産業の礎をつくるには多くの人々の力があつた。その一つが松尾鉾山だろう。松尾鉾山は平成19年（2007）に産業遺産に認定され、いま、鉾山の歴史と環境保全について学ぶ場として注目されている。

鹿角街道の要衝にあつた田頭城。現在は「館山公園」として整備されている。春は桜の名所として知られる。

## 大更駅前まち歩きまっぷ

大正11年（1922）に開業した大更駅。

その後、松尾鉾山鉄道が開通し、駅前を中心に商店街が形成された。ノスタルジー漂うまちは、写真に残したい風景が残っている。







## 11・12月の産直情報

八幡平市の豊かな自然に培われた農作物や花々、手づくり総菜……。産直には、ふるさとの宝が集まっている。

岩手県内有数のそばの産地である八幡平市。白い可憐な花をつけたそば畑は夏の風物詩の一つ。10月に入り、刈り取りが始まり、産直にも新そば粉が並ぶ。

### 安比高原直売センター



キャベツ、白菜、大根、カブと漬物用の野菜がそろそろ。手作り団子や新そばの手打ち麺なども販売。

八幡平市星沢76-5 TEL0195-72-6821  
営業時間／8:30～18:00(10月から17:00)  
定休日／11月中旬～4月下旬

### 道の駅にしね



白菜、ネギなど葉物野菜のほか、小豆や雑穀類が充実。正月にはかかせない小豆はお早めに購入を。

八幡平市大更2-154-36 TEL0195-75-0070  
営業時間／9:00～18:30(11～3月は17:00まで)  
定休日／12月31日・1月1日

### 畑学び舎農産物直売所



カボチャ、ジャガイモ、ニンジンなど貯蔵用の根菜が中心。晩秋を彩る遅咲きのりんどうもいかが。

八幡平市赤坂田40-2 TEL0195-72-6226  
営業時間／9:00～17:30  
定休日／無休 ※11月第2日曜まで営業、冬期休業

### 松っちゃん市場



季節の果物・リンゴが豊富。ハウス栽培のトマトやピーマン、大根のぬか漬やビール漬なども並ぶ。

八幡平市松尾寄木2-512 TEL0195-78-3002  
営業時間／9:00～18:00(5～10月は18:00まで)  
定休日／火曜(10月は無休)・12月31日～1月2日

### 産直りんどうの里



新米、もち米、米粉を少量パックで販売中！白菜、大根、キャベツ、ニンジンなど常備野菜が中心。

八幡平市清水92-1 TEL0195-72-2160  
営業時間／8:30～17:00(冬季は時間短縮)  
定休日／火曜(盆・彼岸は営業)、11月中旬～4月中旬は土・日曜のみ営業

### 物産館あすびーて



ハウス栽培の野菜が多くそろそろ。ブコッロリーやちぢみ小松菜、水菜、春菊など葉物が多くそろそろ。

八幡平市松尾柏台1-28 TEL0195-78-3480  
営業時間／9:00～17:00(12～3月は要問合せ)  
定休日／12月31日・1月1日(11～4月は要問合せ)

### 戸沢生産物直売所



川の上流でさらした凍み大根が人気。鍋料理に欠かさないキャベツ、ネギなど葉物野菜もあり！

八幡平市戸沢129-1 TEL0195-72-3269(藤村宅)  
営業時間／8:00～16:30 定休日／8月14日、1月1日～3日

### 産直大地



長芋、ゴボウのシーズン到来！いわてっこやゆめびりかの新米も販売。手作り団子やがん月も人気。

八幡平市平館15-124 TEL0195-68-7310  
営業時間／9:00～17:00 定休日／12月31日～1月3日

●積雪等天候により、営業時間の変更・臨時休業の場合があります。ご了承下さい。



レシピを教えてくれた関節子さん。

100%のそば粉を熱湯の中に入れて、餅のようになるまでよく練ったものを団子状にした「そばかゆもち」。きな粉、小豆あん、くるみあんをかけてもよし、甘辛みそを塗って軽く焼いてもいい。

八幡平市畑地区では、法事の吸い物にも鶏卵に似せたそばもちを入れて使うこともあるとか。そばと異なるふわっとした食感は美味。そば粉と熱湯があれば、手軽に作ることができる郷土の味である。



甘辛みそを塗って焼いた「そばもち」。ニンニクみそもおすすめ。

そばかゆもち(けもち)

今日のひと皿

「食材を求めて産直へ」

●「そばかゆもち」のレシピは、「ハチクラ」ブログに掲載中！





- 1 八幡平市平笠地区にある養豚施設。消毒や消臭対策など徹底した衛生管理が行われている。
- 2 自社栽培した杜仲茶を粉末にして飼料に混ぜ、豚に与えている。
- 3 豚舎にはクラシックが流され、その中で豚は育つ。

きれいな緑と水がある地で  
地域とともにおいしい食を

#4

## コマクサファーム 遠藤勝哉さん

折しも、世の中は健康志向の風潮にあった。癖のない脂身と肉質の杜仲茶ポークは、注目を

「コマクサ杜仲茶ポーク」の誕生である。

「父が健康維持のために杜仲茶を飲み始めたから、便秘がよく、体調もよくなったというのです。そこで、豚に食べさせてみようかという話になったのです」

「父が健康維持のために杜仲茶を飲み始めたから、便秘がよく、体調もよくなったというのです。そこで、豚に食べさせてみようかという話になったのです」

### profile

えんどう かつや  
1977年、八幡平市出身。岩手高校卒業後、アメリカ・オクラホマ州の大学へ進学。帰国後、IT企業勤務を経て、コマクサファームに入社。



八幡平に  
生きる人

八幡平には、いろんな人がいて、いろんなことを考えている。共通するのは、「ここって、いいまちだね」。暮らしてこそわかる、八幡平の魅力とは――。





## ここで撮影しよう Catch the HACHIMANTAI

八幡平市在住のプロ・アマカメラマンがイチオシする、八幡平市らしさたっぷりの撮影スポットを紹介！



### location 霧 氷

紅葉も終盤に入り、最低気温が0度になり始めると大地にはびっしりと霜が降りる。背の低い高山植物に白いお化粧がなされるのは池塘が数多くあるここならではの。広角レンズで

被写体に近づき広くフレーミングするといい。6時に太陽が昇り、全てリセットしてしまうので撮影は大忙し。防寒具は必須。

撮影時期 10月下旬・安比高原・中のまきば

ブラードフォトとは……

若手中心のプロ、アマ問わずフォトグラファーのグループ。大自然、風土、風習など写真を通じて、八幡平の魅力を広く世界に発信していくことを主たる目的としている。ブラード (blurred) は英語で「はっきりしない、ぼやけた」という意味で、ピンボケ写真を撮らないようにという戒めの意味を込めている。



## 読者の声 << readers voice

ハチクラ第2号に寄せられた読者のコメントを紹介。

●馬が大好きで、馬がいるところを訪れています。ハチクラ2号に載っていたクラリー牧場を訪ね、馬とふれあいたいです。  
(G & G)

●今年、久しぶりに岩手山に登り、感激して帰ってきました。最近、温泉のとりこになり、特に松川温泉松楓荘の露天風呂が気に入っています。いろいろな

●田植えや稲刈り後、疲れたときは峡雲荘へ行きます。温泉がすこいイイです。藤七温泉にも行ってみたいです。  
(Y・I)

●幼いときから八幡平は四季を通して出かけた場所。私の夢は八幡平ロイヤルホテルで式を挙げることです。  
(K・K)

●通リ一番奥！ タオルで体を隠し、早足にトントンと……。さすが、オバハンのなせる技！ 男性の皆さまが早々に上がつてゆくのはいうまでもありません。また行きたいです。  
(Y・T)



自然王国へようこそ

絶景が望める山々、緑豊かな森の中、風渡る牧野。休日、心のままに自然が感じられる八幡平へ――。

冬の厳しさが自然をつくる。  
だから、冬も楽しみたい。



バス停「黒谷地入口」から歩いて約15分の「熊の泉」。黒谷地湿原は、火山活動後、長い時間を経て泥炭層が作られた高層湿原。周囲をアオモリトドマツが囲んでいる。

Welcome to The 山田孝男さん 日本山岳ガイド協会認定山岳ガイド



やまだ たかお

1945年、岐阜県生まれ。1988年、脱サラをして安比高原へ移住、ペンションユングフラウを開業しつつ山岳ガイドを行う。2014年にペンション経営から山岳ガイド主体に活動。

「山を歩くと、自然と人間の暮らしは切り離せないと感じてきます。だから、自然を大切にしていきたいですね」

山岳ガイドとして、岩手県の山々を案内する山田孝男さん。八幡平のすばらしさは「植生が豊かなこと」という。

「冬は雪が多く、寒さが厳しいけど、この気象条件が、八幡平の大自然、植生の豊かさを引き上げています」

雪が多いということは、水も豊富ということだ。豊かな大地と水は、多くの動物が棲む環境もつくる。それが里山や海を潤していく。

「山を歩くと、自然と人間の暮らしは切り離せないと感じてきます。だから、自然を大切にしていきたいですね」

## こんにちは！ 八幡平市地域おこし協力隊です

### 産直ってすごい

産直で買い物をしていたときのこと。知らないおじさんから「ねえ、お姉ちゃん。ちょっと聞いてよ」と呼び止められた。「これキャベ『ツー』」。でも、この中にはみっ『ツー』。一瞬、むむむ、となったが、なるほど、ビニル袋には小ぶりでかわいいキャベツが3つ。

私にとって産直は、ここにしかない新鮮な野菜と出会える特別な場所で、考えるまでもなかった。けれども、野菜ひとつを介して、くすくす笑い合ったり、驚いたりもできる。これってすごいことなんじゃないかなあ。そう思ったときには、もうおじさんはいなくなっていたけど。

(今川友美)





## 大更八坂神社

八幡平市大更

まちの歴史と人々とともに

1月8日、氷点下まで冷え込む厳しい寒さのなか、「平笠裸参り」が行われる。その終着地が「大更八坂神社」である。

同社は、「疫病流行の時、牛頭天王を信仰する村には病にかかる者なし」として、京都山城国牛頭天王から神霊を奉じ、享保5年（1720）に鎮祭したのが始まりと伝えられる。牛頭大王は、インド祇園精舎の守護神とされ、日本では素戔嗚尊と同神とされ、京都八坂神社の祭神となっている。

7月15日の例大祭には、まちの人々が集まりにぎわう、昔ながらの風景が見られる。300年近くにわたり、大更のまちの鎮守として守られ、栄えてきたのが感じられる社である。

次号 2014.Vol.4  
予告 平成26年12月25日発行予定

## 特集「歴史と体験のまち」

※本誌に掲載している情報は、平成26年10月1日現在のものです。発行後のデータ等が変更になっている場合があります。あらかじめご了承ください。※本誌掲載の記事・写真等の無断掲載を禁止します。

## ハチクラ

ステキな八幡平の情報発信をする倶楽部

2014.Vol.3 平成26年10月25日発行

企画・発行

八幡平市商工会 岩手県八幡平市大更35-63-85 TEL 0195-76-2040

「ハチクラ」に関する問い合わせ

八幡平市商工会安代支所 TEL 0195-63-1001

印刷所

大更印刷株式会社 岩手県八幡平市大更21-16-9 TEL 0195-76-2514

# Present

本ページのアンケートに回答、「ハチクラ通信」に投稿してくださった方から抽選で、八幡平市の特産品をプレゼント！

## ① 杜仲茶ポーク肩ロースブロック

(有限会社コマクサファーム)



写真はイメージです

5  
名様

## プレゼント&アンケート

官製はがき、もしくは八幡平市商工会HPの「ハチクラ」入力フォームに、●アンケートの回答、●ご希望のプレゼント番号、●住所・氏名・年齢・電話番号を記入の上、ご応募ください。

●住所／〒028-7533 岩手県八幡平市叭田70  
八幡平市商工会安代支所「ハチクラ」係

●応募締切／2014年11月20日(木)当日消印有効

●八幡平市商工会HP

<http://www.shokokai.com/hachimantai/>

※当選は賞品の発送をもって代えさせていただきます。  
※今回、ご記入いただいた個人情報、八幡平市商工会の個人情報保護方針に基づき、責任をもって管理します。本人の同意を得ずに第三者に開示することはありません。

## WEB通信の「ハチクラ」もチェック！

フリーマガジン「ハチクラ」の取材中に得たこぼれ話、「今日のひと皿」のレシピなどを掲載。あわせて、ご覧ください。

ブログ <http://hachikura.net/>

facebook <https://www.facebook.com/hachikura>

バックナンバーのご案内

■ vol.1 (2014年6月25日号)

特集「この夏、アクティブに安比高原」

■ vol.2 (2014年8月25日号)

特集「温泉と紅葉」



「ハチクラ」の

バックナンバーのお求めは

八幡平市商工会安代支所(TEL 0195-63-1001)までご連絡ください。送料はご負担お願いいたします。

●「ハチクラ」は八幡平市商工会HPでもご覧いただけます。

## 「ハチクラ」Vol.3 読者アンケート

今号「ハチクラ」はいかがでしたか。今後、充実した内容にするため、皆さまの声をお聞かせください。

【問1】ハチクラをどこで入手しましたか？

【問2】本誌を入手の動機は何ですか。(複数選択可)

1. 表紙に惹かれたから
2. 内容がおもしろそうだったから
3. 八幡平市の観光に興味があったから
4. 地元の情報を知れたかったから
5. 無料だったから

【問3】今回の記事でおもしろかったものを挙げてください。(複数選択可)

1. 特集「花輪線に乗って大更へ」
2. 食材を求めて産直へ「今日のひと皿」
3. 八幡平に生きる人
4. 自然王国へようこそ
5. ブラッドフォットのここで撮影しよう
6. こんにちは！八幡平地域おこし協力隊です
7. プレゼント&読者アンケート
8. ディープスポットを訪ねる
9. ピッキョーと行く八幡平

【問4】クイズです。本誌「ブラッドフォット」で紹介した撮影地はどこでしょうか。

1. 黒谷地
2. 八幡平山頂
3. 安比高原・中のまきば

## 「読者の声」投稿募集！

「ハチクラ」では、八幡平市に関する思い出や旅行のエピソードを募集しています。

「読者の声」もしくは、「ハチクラ」ブログでご紹介いたします。匿名希望の方は、必ず明記してください。

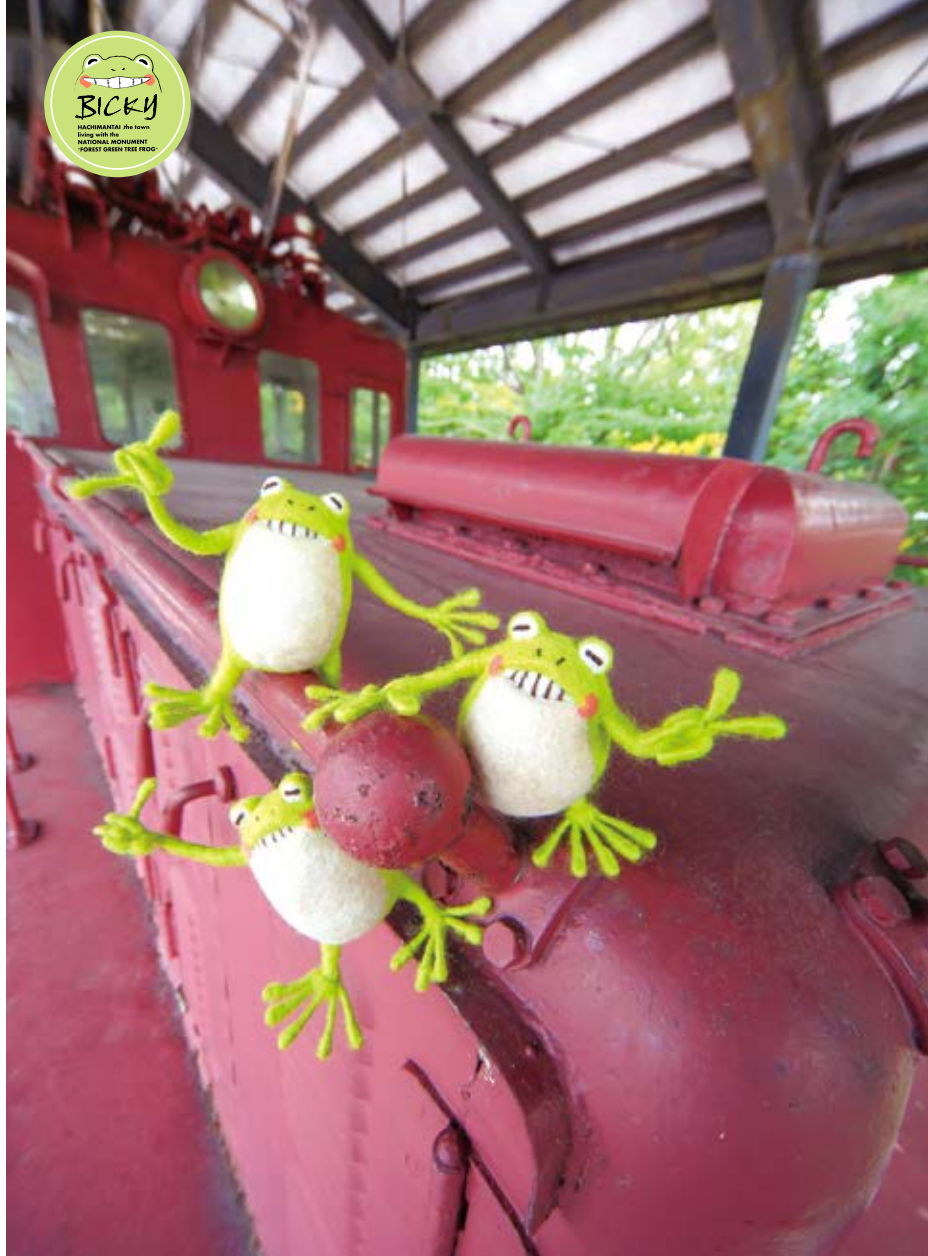
## 八幡平市の味覚、そろう踏み 八幡平スタンプラリー開催中！

今年で3年目になる「八幡平スタンプラリー」。のべ69軒の協賛店を食べ歩きして、ハチマンタイラーのスタンプをGET！スタンプ6個以上で、協賛店で利用できる商品券のほか、特産品を抽選でプレゼントします。応募用紙付きパンフレットは、協賛店で無料配布しています。



<https://www.facebook.com/hachimantai.rally>





●ビッキーとは、八幡平市の非公認マスコットキャラクター。その正体は、樹上で暮らす森の住人・モリアオガエル。「大湯沼とモリアオガエル」は国指定の天然記念物です。



鉾山の歴史に触れてアタマが満たされたビッキーは鉾山鉄道終着の大更にある「ロゼ」へ。手作りのふわふわチョコムースのゴージャスなケーキセットでお腹も満たされてご満悦！

●営業時間／11:30～21:00 ●定休日／火曜

ビッキーと行く八幡平

「鉾山鉄道に乗って」

撮影地／松尾鉾山資料館

撮影

三浦 学

WILDGRAPE FARM・八幡平山ぶどう農園代表

大更駅から現在の柏台を結んでいた松尾鉾山鉄道。花輪線が現在も非電化なのに昭和26年(1951)から電化されていたなんて驚き！「松尾鉾山資料館」に保存されているED251機関車に乗って大はしゃぎのビッキーでした。